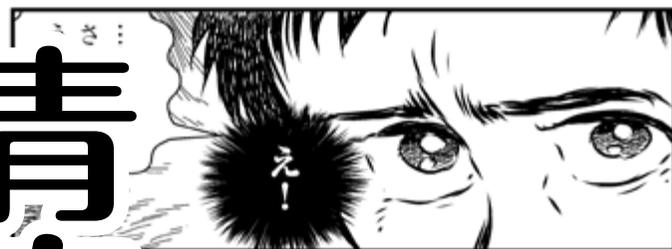




青春の条件

エピソード1



★ 操作方法 ★

マンガのページ上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

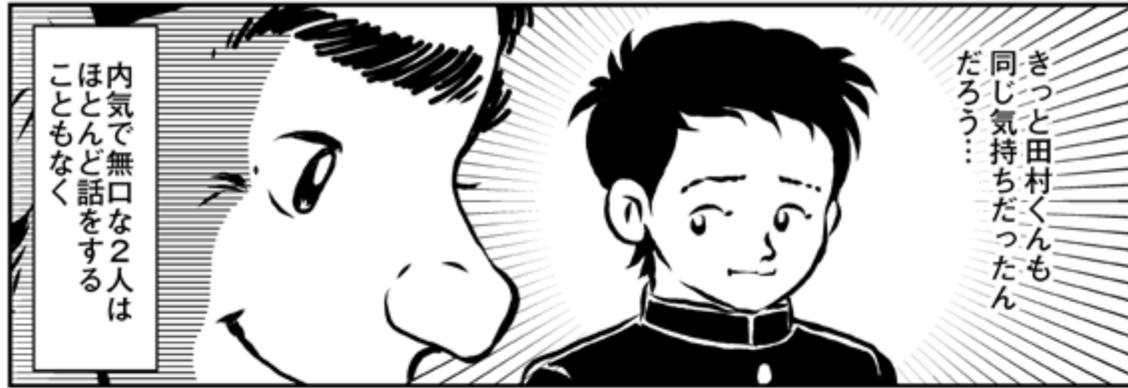
※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。



青春の条件

エピソード1
やましたゆきお





高専へ行くことになった



高専？



八王子にあって学生寮に入るから卒業したらもうあえなくなると思う

そ……そうか……



ボクはその時都立高校の普通科へ進学することを決めていたし……
将来のことはまだ先のことで後で考えれば良いと思っていた……



春になり……ボクは都立高校へ進学し……

田村くんとも会うことはなかった……



高専がどんな所かも考えることもせず……

田村はボクとはちがう世界へ行ってしまった……

と……ぼんやり考えていただけだった



パパ！ボク都立高専へ行きたいんだ

都立高専……

そして30年がすぎていった……



高専……

あ！こう……せん……



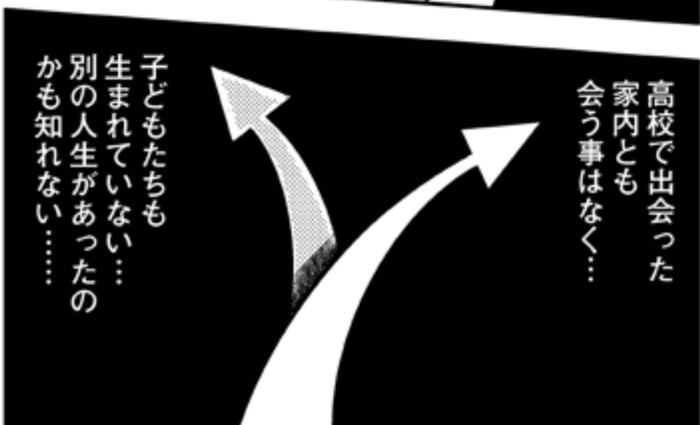
息子が都立高専へ進学したいと聞かされるまで

田村くんのごとも高専のこともすっかり忘れていた……



私があこの時に自分の将来について真剣に考えていて高専がどんな学校か知ることができたら……

私は高専への進学を希望していたかも知れない



高校で出会った家内とも会う事はなく……

子どもたちも生まれていない……別の人生があったのかも知れない……



1965年4月東京工業高等専門学校は創立され、第一期の学生を募集した

あの時、第一期生として高専への道を選んだ田村くんは今……どんな人生を生きているのだろうか……